

四ッ目川が整備されたのを機に、ふたたび災害が起こらないようにと、河川の両岸にソメイヨシノザクラ180本を植えて以来、「愛桜会」を結成してサクラの木の手入れ、清掃、堤防の草刈りを実施している。



中津川市は東に中央アルプスを擁し、古くは中山道の宿場町として栄えた。市の中心部を流れる四ッ目川は、昭和七年に大災害が発生し歴史的な被害をもたらしたが、国、県、市、地域住民が一丸となって復興に尽くし、ほど

なく整備がなされた。

この整備を期に、地元住民は再び災害の起こることのないようにと水神をまつるとともに、昭和二四年には両岸にソメイヨシノザクラ一八〇本を植えた。

以来、愛桜会を結成して、サクラの木の手入れ、清掃や草刈りに努めるとともに、花見の宴ができるよう整備したり、花見客のゴミの収集作業を行うなど、自主的にサクラ並木の景観保全を進めている。

サクラ並木はこうした歴史的な背景に支えられながら、市民の憩いの場として広く親しまれ、近隣市町村からも多くの人々が訪れている。

データボード⑮

- ① 岐阜県中津川市一色地内
- ② 中津川市役所 ☎0573-66-1111
- ③ 四ッ目川両岸延長1,000m
- ④ ソメイヨシノザクラ180本

